

# 教育 かしま

第 15 号

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進していくための情報を掲載していきます。

発行日  
平成 24 年 2 月 15 日  
発 行  
鹿嶋市教育委員会  
連絡先  
鹿嶋市教育委員会 教育総務課  
Tel. 0299-82-2911 (内線 532)

## 平成 23 年度 教育懇談会 ～市民の声を大切に～



### ▲教育懇談会のようす（鹿島地区）

毎年実施している教育懇談会、今年度は平成 23 年 11 月 17 日（木）に鹿島区域（会場：鹿嶋市役所）で、11 月 24 日（木）に大野区域（会場：大野ふれあいセンター）においてそれぞれ午後 7 時から開催しました。教育懇談会は、学校教育や生涯学習などについての疑問点や要望、提案などの意見を聞き、今後の教育行政に反映させることを目的に開催しているもので、鹿島区域からは 52 名、大野区域で 22 名と、昨年度より多くの市民の参加をいただきました。

懇談会では、昨年の東日本大震災で被害にあった教育施設などの復旧状況の説明から始まり、学校教育・生涯学習・文化財についての 3 つのテーマをもとに意見の交換を行いました。その結果、震災後の復旧状況や学校教育を中心に「第二幼稚園の跡地活用」や「放射能の除染」についての質問、「幼小中交流の拡大」や「自転車の乗り方に対する指導」などの要望がありました。これに対し事務局側からは、すでに実施しているものについてはご説明し、課題や要望については、できるだけ早い段階で検討し優先度の高いものから対応していく旨の説明がされました。

今後も教育懇談会を継続して実施し、市民の皆様からの貴重なご意見を真摯に受け止め、よりよい教育を進めるための参考にさせていただきたいと思っております。

# 高松中学校 毎日カップ『中学校体力づくり』 コンテスト 優良賞受賞！



▲ 20 分間走のようす



▲ 長縄跳びのようす

高松中学校が、昨年 12 月に「第 25 回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト」（毎日新聞社主催、文部科学省などが後援）において、優良賞を受賞しました。

このコンテストは、文部科学省の実施要項に従って毎年 5 月に実施される新体力テストの記録をもとに「体力づくり」の実践をとおして「たくましく生きる力」の育成に成果を上げている中学校が表彰されています。

第 25 回のコンテストには、全国約 10,100 校の中学校のうち 4,295 校がエントリーしました。第 1 次審査、第 2 次審査が実施され、優良賞以上 41 校、努力賞 101 校が表彰されました。

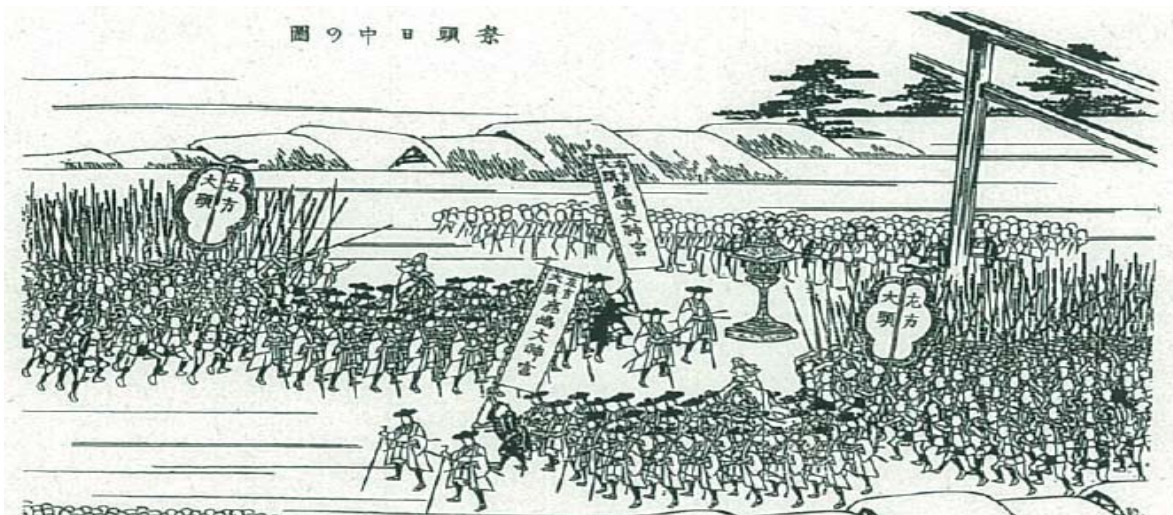
高松中学校の体力づくりは、体育の授業において無理なくできる、それぞれが自分のペースで 300 ～ 400 m を走り、最後の 100 m は全力で走るランニングを取り入れることから始まりました。現在は、毎週月曜日に全校生徒が参加して 20 分間走と長縄跳びを隔週で実施しています。ランニングが得意な生徒は 3,000 m でタイムを競っています。

これらの取り組みを 5 年間続けた結果、今年は体力テスト A 級と B 級合格者が 78.5%（県平均 57.4%）まで伸びました。特に 3 年女子においては、全ての項目で県平均を上回っています。また、県東地区駅伝は男子が 9 位、女子 14 位と飛躍的に順位を上げています。

縄跳びの記録は、県内の学校が記録を登録して競う「茨城県スポーツチャレンジ」において「8 の字跳び」で 6・8・9 位、「チームジャンプ」で 5・11・13 位（1 月 17 日現在）に高松中学校が入っています。

このような取り組みをとおして、生徒は、「苦しいことや苦手なものから逃げない、あきらめない。」「やればできる。」「得意、不得意関係なしに仲間の頑張りを認め、励ます。」など、自己効力感や自己肯定感、学級に対する信頼感や所属感が高まっています。

今後も学校、家庭、地域が連携し「たくましく生きる力」を育んでいくことに期待しています。



▲祭頭祭 昼の図

## 復興願う祭頭祭（国選択無形民俗文化財）

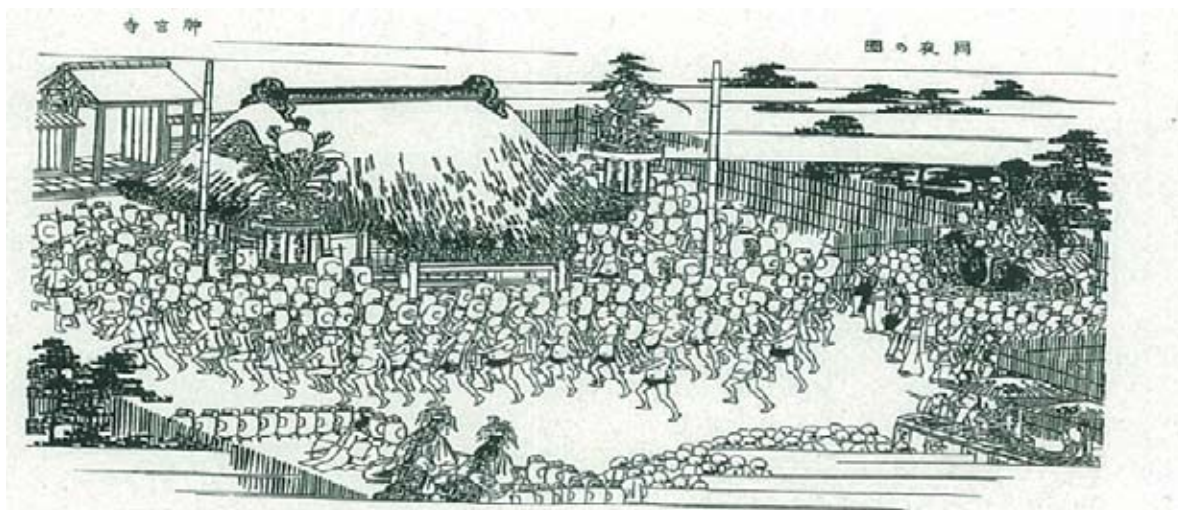
祭頭祭は、平成 24 年 3 月 9 日（金）に開催される市の代表的な歴史的な文化財で、昭和 51 年 12 月 25 日に文化庁から「鹿島の祭頭祭」として国選択無形民俗文化財に指定されています。例年、春季祭で卜定された当番地区が実施します。3 月 9 日午前 10 時、祭頭祭は大総督（新発意＝しばちとよばれる）が狩衣姿で家族に見守られながら神宮に昇殿して、おごそかに執行されます。

今回の祭頭祭は、東日本大震災の復興祈願の祭頭祭として特別に祭頭囃保存会が主体になって開催されることになりました。現在、一般公募した囃し人の参加者は 500 人を超え、踊り人も 200 人を超えています。役員や付添いの方々を加えると総勢は 800 人を超えるものと思われます。当日は、被災地の東北に向けて復興のために応援のエールを送ると共に、同じく被災地である鹿嶋が新しい時代に向けて前進、チャレンジしていくことを強くアピールするために日本全国に向けて、みんなで元気よく祭頭囃を囃していきます。

ところで、祭頭囃の終了した夕刻に執行される「春季祭」はあまり知られていません。「春季祭」は来年の当番地区を卜定する重要な儀式で、決定された次年度の当番卜定は神職によって大音声で披露されます。これらの儀式は夕闇の中で粛々で行われ、古代の雰囲気漂わせています。昼間のにぎやかな囃しとは打って変わっておごそかな「春季祭」に、この祭りの本質を見ることが出来ます。是非、最後までご覧になって頂きたいと思います。

[挿図] 文政 6 年（1823）に書かれた『鹿島志』には「祭頭日中の図」と「夜の図」が描かれており、現在とはだいぶ異なった趣であった様子がうかがえます。

▼祭頭祭 夜の図



## 鹿嶋市の郷土かるた

～いの一番に鹿島神宮，  
いぼとりの地蔵にお礼のタバコあげ・・・～

みなさん、鹿嶋市の郷土かるたをご存知でしょうか。鹿嶋市教育委員会は5つの重点目標を掲げ、鹿嶋っ子の育成を推進しています。この中の重点目標3に「郷土理解教育と国際理解教育の推進」が掲げられています。

鹿嶋市の郷土かるたは、昭和43・44年に国の文化財モデル地区に指定されたことをきっかけに郷土を知り、後世まで語り継ぐ手段として「文化財愛護かるた」が制作されました。その後、もっと身近な郷土を知り、語り継ぐことも大事と、昭和60年に「高松かるた」、平成13年に「大野今昔かるた」、平成18年に「とよつ親子かるた」が製作され、現在では4つの郷土かるたにより、子どもから大人まで郷土の歴史を大切に後世につなぐ活動が行われています。

今年の鹿嶋市のかるた大会は、1月14日の第27回高松かるた大会、22日は第41回鹿嶋市新春文化財愛護かるた大会、そして29日には第7回とよつかるた大会が行われました。最後を飾る大野今昔かるた大会が2月12日に開催されました。

茨城県内の郷土かるたを調べると、21の県市町村に31のかるたがあることがわかりました。かるたの数では鹿嶋市が1番で、2番目が水戸市、製作者は文化財関係団体や子ども会、小学校、教育委員会、地区で組織した編集委員会等幅広い団体で制作されています。

お正月は「かるたとり」、「凧あげ」、「すごろく」などが定番でした。1月は過ぎましたが、ゲーム、テレビは控えて家族みんなで昔の遊びをするのもいかがですか。じーちゃん、ばーちゃんの出番ですよ。



## ○豊津小学校で学んでみませんか

小中学生が通学する学校は、学区によって指定され、原則的には別の学区の学校へ通うことはできません。ただし特別な理由や事情があり、指定された学校に通うことができない場合に限っては、指定学校の変更申請ができます。

このたび、鹿嶋市教育委員会では、指定学校変更の理由の中に、「豊津小学校での教育活動を希望する場合」を加えました。

豊津小学校での、少人数学級の特性を生かした授業や、豊かな自然を生かした活動を希望する場合に、指定学校変更の申請をすることができます。

期間は、小学校卒業までとします。申請多数の場合は、審査のうえ、人数制限をかける場合があります。

豊かな自然や、地域の特色あふれる豊津小学校で勉強してみませんか？ 学校見学等も受け付けていますので、お気軽に鹿嶋っ子育成課へご連絡ください。

<連絡先>

鹿嶋市教育委員会 鹿嶋っ子育成課

TEL 0299-82-2911 (内線 522)

